昭和五十二年十二月三日第三種郵便物認可　毎月十八回一・二・三・五・六・七・の日発行
令和五年七月十五日発行　SSKP　通巻第8176号

SSKP 脊損ニュース

7月号

〒152－0034
東京都目黒区
緑が丘２－15－14
村上ビル102
(公社)全国脊髄損傷者連合会
電話(03)6421-4588

(公社)全国脊髄損傷者連合会
ホームページアドレス ＝https://www.zensekiren.jp/

▲丸岡温泉　たけくらべ

〒９１０－０２０４
福井県坂井市丸岡町山竹田８８－８

ＴＥＬ　０７７６－６７－２３３３
ＦＡＸ　０７７６－６７－２４６８

https://www.takekurabe.co.jp

バリアフリーカインドツインルーム２室
１泊２食付きお一人様
￥１２，６５０～

※曜日、季節、天候によって変わります。
その他、お問い合わせください。
（情報提供　広報部）

〈７ 月 号 目 次〉

定時総会　開催 …… 3
第21回定時総会　公開講演Ⅱ
全国の脊髄損傷の実態調査について
…… 6
連載　続・世界は開いているから仕方がない
村山　哲也 …… 10
連載　挑戦することを
諦めてはいけない
渋谷　真子 …… 11
紀行　『沖縄での家探し』
三代　達也 …… 12
減災《減災意識をたかめる》 …… 13
万華鏡50・災害支援金のお願い …… 17
組織部報告・編集後記 …… 18

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

快適床ずれ予防マット 業界で唯一！シリコンファイバーを使用

ソフタッチユーホー

ソフタッチユーホーベッドマット

睡眠が深くなりやすい！

◆ 裏面防水加工のベッドマット ◆ 裏面四隅にバンド付き
◆ 介護保険・労災保険対応 ※ 詳しくはお問い合わせください。
※ 専用シーツ別売り

今だけ!!プレゼントキャンペーン!!

ソフタッチユーホーベッドマットを1枚購入すると
5,500円（税込）専用シーツが1枚もらえる
※ 専用シーツ（撥水加工・水色）
対象期間：2023年6月15日（木）～2023年9月15日（金）まで

シングル
74,800円（税込）

【サイズ】長×幅×厚（cm）：210×90×10
【材 質】中綿：シリコンファイバー 100%
側地：表面 綿35%・ポリエステル65%（抗菌加工）/ 裏面 ナイロン 100%

ソフタッチユーホー車椅子パッド

長時間座位の圧迫を軽減！
身体突出部位を保護！

レギュラー・ハード
15,400円（税込）

【サイズ】長×幅×厚（cm）：レギュラータイプ（41×46×8）ハードタイプ（39×39×8）
※「車椅子パッド」は座布団、背あて、腰あてとしてもお使いになれます。
※ 運動選手の方など、80kg以上の方用にハードタイプもご用意しております。
※ 専用カバー別売り（撥水加工・紺色）

アームチェアパッド
31,900円（税込）

2個1組セット

かかとパッド
11,000円（税込）

シリコンファイバーとは

床ずれ予防用具として最適な素材!!
高い通気性で汗をかいてもムレずに快適!!

「シリコンファイバー」の特長
- NASAでロケット発射時の暖衝材として開発
- 体圧分散効果と通気性に優れ、床ずれ予防に最適
- 繊維間の摩擦が非常に少なく、適度な弾力性

床ずれ対策に併せてオススメ!!

肌改善サプリメント シスコラも販売中！
6箱セット以上のご注文の場合は、送料無料でお得!!
更にお得 6箱セット▶5%OFF! 12箱セット▶15%OFF!!

メーカー販売価格 4,104円（税込）

商品のお申し込み・お問い合わせはこちらまでご連絡ください。（WEBサイト・メールでも受付可能）

☎ 03-3377-2361 日本ヘルスケア株式会社
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-21-12

WEBサイト https://www.jhckk.co.jp MAIL jhc@jhckk.co.jp FAX 03-3377-2214 営業時間 月曜～金曜 9:00～17:30

4年ぶり　一堂に会して
定時総会　開催

＝フォトレポート＝

第２２回総会
福岡県大会

県・市行政、厚労省、国会議員と招待者の激励がありました

木村顧問

桝屋顧問

横沢参議院議員顧問

昨年度、会員増強の札幌・千葉・京都支部に表彰状が手渡された

いつもご協力
ありがとう
ございます

展示出展企業様

会場の一角にWeb配信担当の山本京都支部長が待機
この技術ノウハウを各県支部に提供したいと語る

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

総会議事
すべて
可決成立する

会場とズームでの
ハイブリッド開催
webでの評決確認
に工夫が必要か

楽しく、華やかに　懇親会

会場を盛り上げた舞踊に拍手喝采でした

乾杯の音頭が響き渡る

各所で再会の喜びが

66人の参加者で楽しんだ宴も終了しお見送りをする福岡県支部のスタッフ。ご苦労様でした。来年も会場で再会を。

新役員体制が確定 ―この体制で連合会活動を運営―

公益社団法人全国脊髄損傷者連合会　役員名簿（2023年6月10日現在）

役職				氏名	
顧問（五十音順）				赤羽（あかば） 一嘉（かずよし）	（衆議院議員）
				衛藤（えとう） 晟一（せいいち）	（参議院議員）
				木村（きむら） 義雄（よしお）	（元参議院議員）
				菅原（すがわら） 崇（たかし）	（弁護士）
				橋本（はしもと） 聖子（せいこ）	（参議院議員）
				古谷（ふるや） 杉郎（すぎお）	労働災害WG委員長
				桝屋（ますや） 敬悟（けいご）	（前衆議院議員）
				横沢（よこさわ） 高徳（たかのり）	（参議院議員）
理事	代表理事		（三役）	大濱（おおはま） 眞（まこと）	介護保障WG委員長
	業務執行理事	副代表理事		小林（こばやし） 光雄（みつお）	バリアフリー等WG委員長
		事務局担当の常務理事（事務局長）		安藤（あんどう） 信哉（しんや）	組織体制WG委員長 厚生福祉担当理事
		財務担当の常務理事		淺川（あさかわ） 都（みやこ）	
		常務理事		祐成（すけなり） 常久（つねひさ）	体育担当理事
				小島（こじま） 正志（まさし）	広報WG委員長
				仲根（なかね） 建作（けんさく）	ピアサポートWG委員長
				竹田（たけだ） 保（たもつ）	北海道東北ブロック担当理事
				山本（やまもと） 英嗣（ひでつぐ）	
				松井（まつい） 保偉（やすひで）	近畿東海ブロック担当理事
				藤田（ふじた） 幸廣（ゆきひろ）	九州ブロック担当理事
				黒田（くろだ） 泰弘（やすひろ）	北越ブロック担当理事
				露崎（つゆざき） 耕平（こうへい）	関東甲信ブロック担当理事
				毛利（もうり） 公一（こういち）	中四国ブロック担当理事
監事				飯岡（いいおか） 秀之（ひでゆき）	
				菅原（すがわら） 崇（たかし）	顧問

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

第21回定時総会　公開講演Ⅱ

全国の脊髄損傷の実態調査について
「高齢者の受傷が増加 しかも頸損が拡大…」

その2

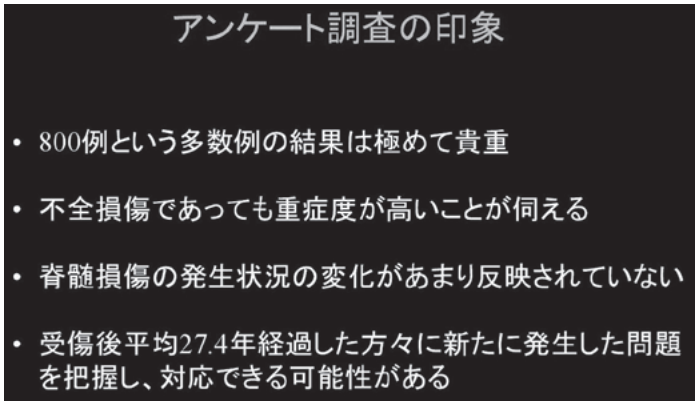
講師　徳島赤十字ひのみね総合療育センター
園長　加藤　真介　氏

文責　編集部

●生活実態調査の結果

今まで行ってきたアンケート調査の解析の印象を述べさせていただきます。

まず800例という多数例の結果、極めて貴重だと思います。それと、今回ご回答いただいた方で、不全損傷と書かれていても、重症度はかなり高いのではないかと思います。最初に述べました脊髄損傷の発生状況の変化は、今回のアンケート調査にはあまり反映されていないように思います。



今回のアンケート調査は、あくまでも現在の状況をお伺いしています。27年経過した方々は、損傷後いろいろな問題を新たに発生されて来て、対応されてきたのではないかと思います。ですから、もう少し切り口を変えて検討していけば、脊髄損傷後、新たに出てくる問題について、情報を共有し対応を考えることができるのではないかと思っています。

ご紹介いただきまして、京都大学の岩隈先生と一緒に、これからどうしようかと相談をしているところです。また調査をお願いすることがあるかもしれませんけれども、その際はよろしくお願い申し上げます。

さて、最近の話題を少し最後に述べさせていただきます。

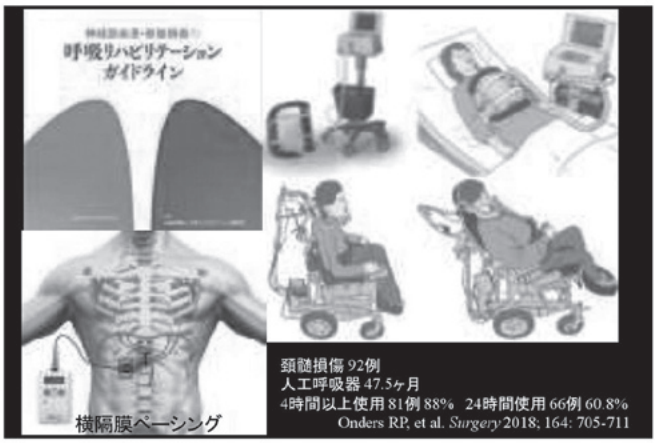
いわゆるニューロリハビリテーションは、今さまざまに進歩しております。これは徳島大学病院でのハルの様子ですが、少し前からあるLokomat・ロコマットであるとか、最近は硬膜外電極を置いて歩かせる方法。それから頭部を刺激してロボットアームに伝える方法など、さまざまな研究が進んでいます。

とは言え、基本は合併症を防ぐことであります。呼吸器合併症というのが一番怖いわけです。

頸髄損傷ですと、横隔膜は残っていも呼吸補助筋がだめな場合もありますし、ひどい場合は横隔膜がだめな場合もあります。これは僕がイギリスにいるときの胸部の理学療法の様子ですが、最近、総合脊損センターから、頸髄損傷の方の誤嚥についての報告が出ました。

誤嚥というのは肺炎の大きな原因になるわけですけれども、フランケルＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄですが、やはり重症度が高いほど嚥下機能が悪いということが明らかになりました。特に重症度が高い方は、受傷後３カ月になってもやはり嚥下機能がかなり低い状態にいられます。重症の麻痺ほど、急性期を過ぎても誤嚥を起こしやすいということが明らかになってきています。

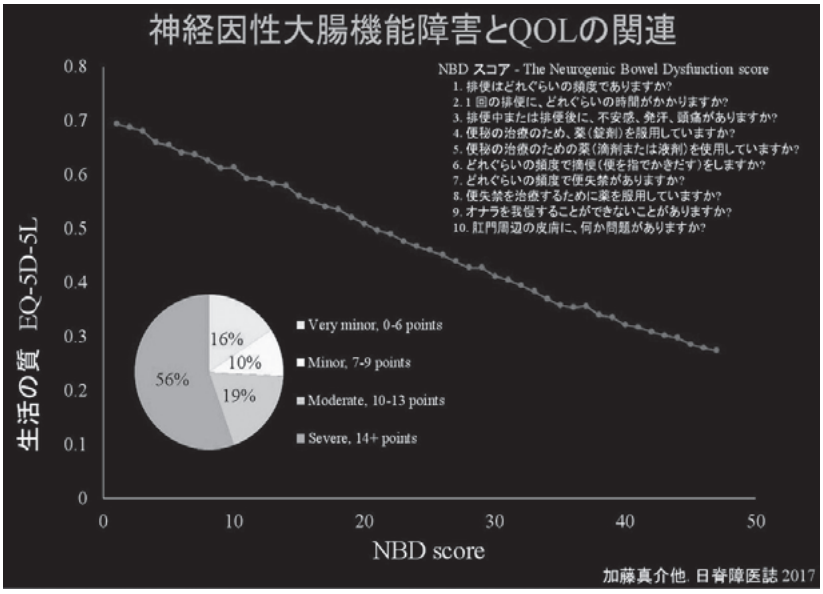
脊髄損傷に関しては、日本リハビリテーション医学会を中心に呼吸器リハビリテーションガイドラインが出ています。そこで取り上げられていない最近の話題としましては、横隔膜ペーシングというのがあります。腹腔鏡手術で横隔膜に電極を入れて、電極で刺激するというものです。



2018年に本田先生が出されたレポートですが、頸髄損傷92例、人工呼吸器を約２年付けていた方に、これを入れています。４時間以上使用できている方が88％、24時間使用できている方が60％です。島田洋一理事長からご下命を受けまして、日本でもこれが使えるようにということで、総合脊損センターの前田先生を中心に、日本脊髄障害医学会がガイドラインの作成等を行ってまいりました。もうすでに実臨床に入っております。残念ながらまだ脊髄損傷に関しては１例のみですが、その方の様子を伺いますと、人工呼吸器を付けていたのが外れたと伺っています。これから、一つの新しい希望が生まれているのではないかと思います。

尿路合併症については、最近ナイトバルーンとかこういうものが入るようになってきます。脊髄損傷学会が排尿機能学会それから泌尿器学会と共にガイドラインを出版しております。これで排尿管理の最新の情報がいろいろな方に手に入りやすくなったのではないかと思っています。

それから便秘の問題です。神経因性大腸機能障害、つまり脊髄損傷とか二分脊椎で便が出にくい方について、NBDスコアということで評価しているのです。右に行けば行くほどこれは重症ということになります。NBDスコアと生活の質をEQ－5Dという指標で評価すると非常にきれいな結果になります。排便で困れば困るほど生活の質が下がるということが明らかになります。



生産性の低下というのを計算してみますと、脊髄損傷の方ですと生産性が、排便機能障害があるだけで低下率は33％、二分脊椎でも30％ということが明らかになりました。排便機能障害に対するアプローチが大切であることが日本でも明らかになっています。この研究は、経肛門的洗腸療法を導入するにあたって、コロプラスト社から依頼を受けて行ったものですが、これもようやく保険上、少し使いやすくなってきたので、徐々に広がっていっているのではないかと思います。

1977.12.3 第３種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

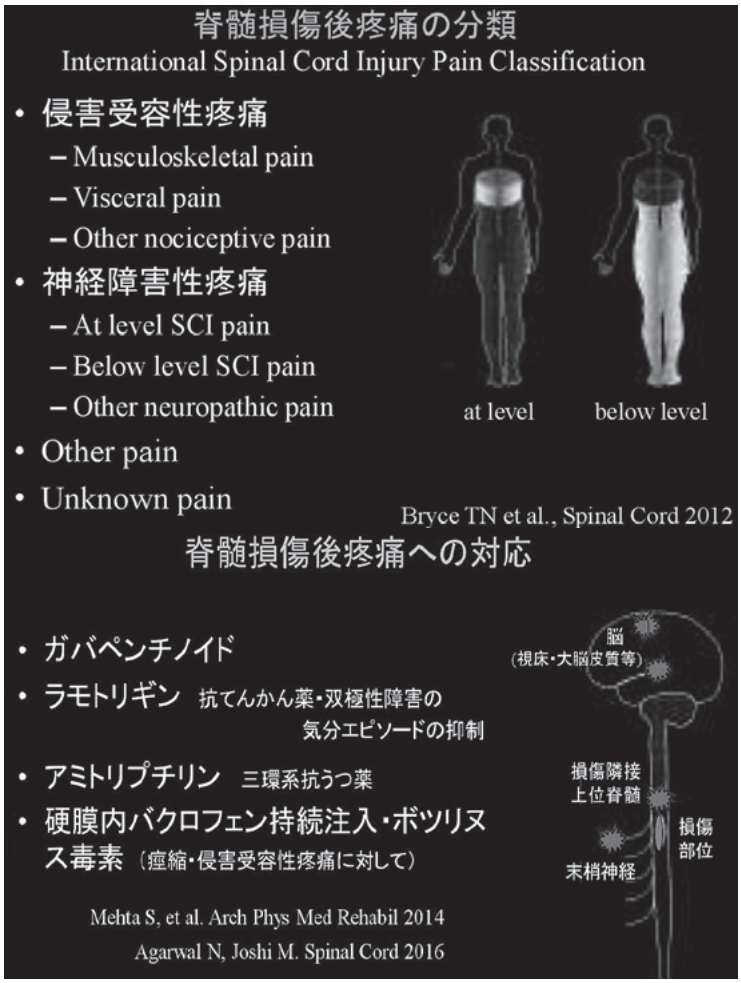
●疼痛問題

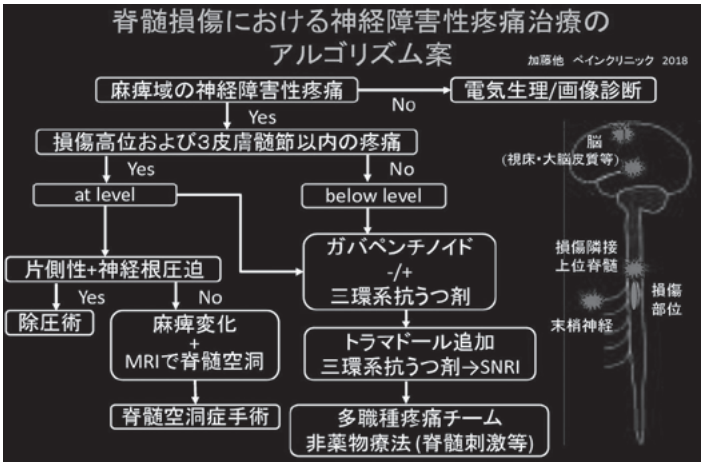
次は、疼痛です。脊髄損傷後の脊髄空洞症の方です。この方は受傷後24年、血圧が変動するということでMRIを撮ってみますと、大きな空洞症ができています。シャント手術剥離術をやって空洞がきれいに小さくなりました。脊髄空洞症というのは症候性のものが起こる確率は５％程度という報告があります。

一つの症状は痛みです。脊髄損傷後の疼痛の分類というものがありまして、一つは神経障害性疼痛、これは筋肉とか関節とか内臓が痛い。

痛みを感じるセンサーが刺激されて、痛むのを侵害受容性疼痛といいます。脊髄損傷の場合、麻痺高位が痛いものをアットレベル。麻痺している所から下が痛いのをビロウレベルと言い方をします。

名越先生が、村山病院で調べられた結果ですが、それを含めて見てみますと、脊髄損傷者の方の７割、８割の方が痛みを持ち、３割はコントロールが困難でQOLが低下、生活の質が低下していきます。痛みとしては、損傷部位の上位との境目あたりよりも麻痺の部分が痛い。受傷後１年で増強して、完全運動麻痺、感覚不全麻痺の方がひどいという結果です。これに対しては、ガバペンチノイドという薬、それからさまざまな精神、心理的な問題に使う薬が今までに使われてきました。ガバペンチノイドというのは、ガバ、商品名でいきますと「ガバペン」「リリカ」、実際に正式に使われるのはリリカしかありませんでした。最近、「ビロワワリン」「タリージェ」が、ようやく使えるようになりました。われわれにとって選択肢が広がったということです。





しばらく前のリビューにアルゴリズムを書かせていただきましたが、症状にアットレベル、つまり正常との境目が痛い方に関しては、もし圧迫が残っているようであれば手術というものも選択肢かもしれませんし、空洞症があるならば空洞症の手術ということがあるかもしれません。中心は、ガバペンチノイド、リリカ、タリージェ、この投与が中心になるかと思います。

●新しい治療の展開

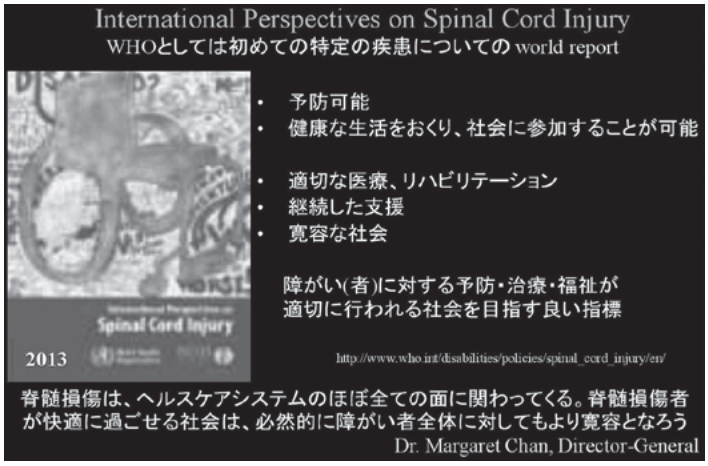
現在使われているステミラック注（一般的名称：ヒト（自己）骨髄由来間葉系幹細胞）。札幌医科大学の本望先生を中心に行われているものですが、これが承認されたときには、非常に海外では大きな批判を浴びました。これはネイチャーという医学会では一番権威のある雑誌に載りました。幹細胞治療はコンサーン、つまり心配事を起こしていると。認可されたのは早すぎるのではないのかということでした。どうしてかといいますと、このときには結果がまったく国際的に公表されていませんでした。ようやく本望先生のところで、この臨床、認可に至る症例のすべての結果が報告されています。

これを見ますと、受傷後にて約40日で注射をしています。40日というとかなり症状としては改善が落ち着きかけているところですが、そこで注射しても、かなりの改善があるということが分かります。

この論文の中では、本望先生らの結果と過去の論文との比較をされています。過去の論文との比較というのは、さまざまな要因があって非常に難しい、単なる比較というわけにはいきません。ということで、今厳密な結果報告を求められていて、それが今行われています。５月の段階でステミラックを打ったものが85例、対象群は130。この結果をもって承認後７年でもう一度審査を受けるということになっていると伺っています。

さて、最後ですが、2013年にWHOは特定の疾患について初めてワールドレポートを出しました。この巻頭言で、当時のWHOの総長のマーガレット・チャン先生は、脊髄損傷者が快適に過ごせる社会は、必然的に障害者全体に対して、より寛容な社会になるだろう。ですから脊髄損傷についての現状を一度把握しておきたいということで、こういうレポートができました。

今でも途上国であるとか、今回のウクライナ、そういう所では、このレポートを一つの参考にして脊髄損傷治療というのが展開されていっています。



私も比較的最近知ったのですけれども、コンシューマーという言葉があります。普通に訳すと、消費者ということになりますが、欧米では、脊髄損傷者の方をコンシューマーといっています。ですから、今日、皆さんはこのコンシューマーのグループの中の一員ということになります。

これから脊髄損傷者の方の生活の質を上げ、治療成績を上げていくためには、皆さんと私どものような医学系の人間との交流は、非常に大切だと思います。

ただそれだけではなくて、社会医学的な観点も、これからどんどん導入していくことによって、より良い環境ができていくのではないかと思っておりますので、これからも一緒にやっていければと思っております。どうもご清聴ありがとうございました。

（完）

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

第4回『続・世界は開いているから仕方がない』村山　哲也

健常者世界から障害者世界への“旅”について　3

入院中、障害関連の書籍をインターネットで注文して、読みました。脊損だけでなく、あっちこっちの障害本に手を出したのです。障害本、いろいろなタイプがあります。障害者自身が書いたモノから、障害者の家族が書いたモノ、介護者や社会学者といった障害者社会にかかわる人たちが書いたモノ。

今思い出しても、強く印象に残る本がいくつかあります。すこし紹介しますね。

・最首悟著『星子が居る―言葉なく語りかける重複障害の娘との20年』世織書房　1998
・横塚晃一著『**母よ!殺すな**』生活書院　2007
・横田弘著『**【増補新装版】障害者殺しの思想**』現代書館　2015
・熊谷晋一郎著『**リハビリの夜**』医学書院　2009
・渡辺一史著『**こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち**』文春文庫　2013
・立岩真也著『**ALS 不動の身体と息する機械**』医学書院　2004
・川口有美子著『**逝かない身体―ALS的日常を生きる**』医学書院　2009

どの本も、公共図書館にはあると思います。ちょっと難しい感じの本もありますけれど、どれもとってもおススメです。ご縁があれば、ぜひ。

さて。

自分の障害について本を書く障害者は、だいたいが障害者の中の強者、強者という言葉に語弊があれば、がんばっている障害者、です。もちろん、それは素敵なこと。

連載仲間の渋谷真子さん、三代達也さん、そして私自身も本を出版しています（私の場合は、本の大半は健常者時代の国際開発支援に関係したものですけれど）。あるいは、渋谷さんはYou-tubeの動画配信で大活躍しています。三代さんは車イスと観光というキーワードで沖縄をベースにして日本中を駆け回っている。まさにがんばっている障害者の代表格のような人たちです。再度書くけど、それは本当に素敵なこと。

“がんばっている障害者”という言葉は、健常者世界では***“障害者なのにがんばっている”***と読み直されます。そして、障害があってもくじけず明るく生きているという図が期待される。

健常者がイメージする「明るい障害者像」というのは確かにありそうです。そんな障害者に対する健常者の一方的で都合の良い思いを「感動ポルノ」と揶揄する向きもある。「感動ポルノ」の文脈では、「明るい障害者」「がんばっている障害者」は、一種の消費の対象です。顔出しで（だいたい笑顔ね）露出している渋谷さんも三代さんも、そして私も、消費物の側面があるのです。そして出る釘は打たれる、つまり***“障害者のくせに…”***というリアクションも起こる。

消費財としてそれは覚悟しておかなくちゃいけない。そして、消費されるモノとして、それぞれの諦観と戦略が求められるのだろうと、私は思っています。

（写真：イネの花）

連載

挑戦することを諦めてはいけない

渋谷　真子

「あなたは若いからいいね。なんでも出来るよね。」
「人に恵まれていていいね。」
私が車椅子になって、いろんな発信や活動をしていく中で、よく言われる事です。
確かに年齢によって体力の差があるので、できる事が容易な事とそうでないことはあると思います。また、私が人に恵まれているのかもしれませんが、黙っていてもそういう人は近くには来ません。自分にとってプラスになる人、力になってくれそうな人を自ら動いて関係を築いているからこそ、恵まれているんだと思います。１人ではできないことも、誰かの手を借りればできることは多くあります。そこに年齢は関係ありません。

そんななんでもやりたがりの私が次にチャレンジしたのは田植えです。
しかし、田んぼの提供と田植え機を貸してくれる農家さんを見つけるのは難しく、やりたいと言い始めてから２年くらいが経ちました。それが今年になって、農家さん側からのオファーがあり、念願の田植え体験をできることになったんです。田植え機への乗り込みは１人ではできないので協力してくれる人を集めました。実際の運転もエンジンをかける時だけ足元のペダルを踏む必要がありましたが、エンジンをかけてしまえば、手動装置と同じ要領で前進と後退ができました。今後も生育を見続けて、今度は稲刈りにチャレンジしたいと思っています。

また、鶴岡市の一大イベント「天神祭」の山車の引き手としても参加しました。
車椅子になるとお祭りに参加するのが難しいと感じていましたし、実際も簡単ではないと思いますが、こういう参加方法なら上手くできるかも！こういう参加方法でも楽しい！と思える体験が今回できたと思います。山車と一緒に歩行者天国になった中心部を練り歩くので、たくさんの方が声をかけてくれました。こういった事も「車椅子を身近に」という大事な活動だと思います。私だから参加できる、という事ではなく、もっと子供たちも参加できるような仕組みづくりを来年に向けて考えていきたいと思います。
“やりたいことを叶えていく”そんな気持ちが強い私だからこそ、他の人がやってみたい、と思うことも勝手にやって。勝手に道を作ったら、その人がやれるようになるんじゃないかな、と思ってたりもします。
これからも「こんなことやりました！」という方向が、こちらでできるように行動していきます。

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

紀行　原稿

『沖縄での家探し』

三代（みよ）　達也（たつや）

私は、2021年の３月から沖縄県糸満市に住んでいます。

家はバリアフリーのマンスリーマンションを選びました。

身一つですぐに暮らせるマンスリーにした理由ですが、当初は半年ほどの短期移住を考えていて、引越しのために新たに家具を購入したり配送するのが大変だと思ったのです。インターネットで「沖縄、バリアフリー、マンスリー」で調べたら、那覇市と糸満市の物件のみ出てきました。

残念ながら那覇市の物件は駐車場を借りることができず、移動手段が自家用車の私にとっては、暮らすことが難しいと感じました。

一方糸満市の物件は完全バリアフリーな上に駐車場に屋根がついているなど、私にとって魅力的な物件でした。

それだけではなく、「なぜここまで配慮されているのだろう？」と思わせるほど室内のバリアフリーへのこだわり具合に驚きました。

例えば、車椅子ユーザーが使いやすいようにコンセントの位置が少し高く、逆に電気のスイッチは低いところにあること。

室内は全てスライドドアで、且つ扉が上からの吊り下げ式になっているので、床に敷居のレールがなく車椅子で移動してもストレスフリー。

日本・海外と何度か引っ越しをしてきましたが、過去最高に住みやすい家と出会えました。

他にもこだわりポイントはたくさんありますが、紹介しきれないため、もしよろしければこちらからルームツアーの動画をご覧くださいませ。

これから家を改修される方など、ご参考になれば幸いです。

https://youtu.be/5mKHWfIqg14

減 GENSAI 災

《減災意識をたかめる》

ポスター活用 避難時に

横浜の高校生ら作成

横浜市立横浜総合高校の生徒らが、災害時に避難所で活用できるポスターセットを作成した。「救護」「ボランティア受付」など避難所を区分けする際に使えるものと、「そんなときはまず『ありがとう』だね！」など、避難所生活で心がけたいポイントを記した「一言ポスター」の計40種類を同封。生徒たちは「自分たちの活動を地域の人たちに役立ててもらえれば」と期待する。

「避難所掲示セット」は、イベントを企画する「企画部」や生徒会、同校の前校長で若者を支援するNPO法人「体験活動サポート開港場」代表の小市聡さん（63）が中心になって制作した。

目的は、避難所内でのトラブルを防ぐことだ。一言ポスターは「声かけて助け合う」「泣かない子どもはいない」など12種類を用意。避難所生活を円滑にするために留意したい点を、言葉とイラストで表現している。言葉を考えた２年の鈴木裕也さん（16）、智也さん（16）の兄弟は「ほっとしたり、勇気づけられたりしてくれればいい」「避難者同士のトラブルがこの活動で抑えられたら」と声をそろえる。

不安和らぐ「一言」を

また、学校の体育館に避難所が設置された場合、「更衣室は？」「飲料水はどこにある？」などさまざまな質問が教員に集中することが想定される。そうした情報が一目で分かるポスターを張り出しておけば、運営側の負担も軽減できる。４年の鈴木耕太さん（18）は「被災して不安になった気持ちを安心させるものになってほしい」と話す。

掲示セットは、農業体験でお世話になった地域の物産などを販売する「横総大感謝祭」の収益で、計100部を印刷。区内の小中学校25校に提供し、残りは避難所が設置される可能性のある学校や自治会など、希望する施設に配布する予定。

企画部の部長を務め、３月に卒業した川崎史温さん（19）は「自分たちが作ったもので被災した人を元気づけられたら」と思いを込める。

財政支援、対象拡大へ

国、施設環境向上狙い

総務省は2023年度、自治体の防災対策を後押しするため、財政支援の対象事業を拡大する。新たに加わるのは、指定避難所となっている高齢者施設や私立学校の生活環境を向上する事業など。災害が激しさを増し、避難者の滞在期間が長期化しやすくなっているのを考慮した。

指定避難所は自宅が被災した場合、避難生活を送る施設。中でも高齢者施設は、入居者以外の高齢者らの受け入れが期待されており、バリアフリー化したトイレの増設などが必要だ。総務省は、施設側がこうした改修事業を実施し、自治体が補助金を出した場合、補助額の70％を地方交付税で支援する。

施設の改修が進まなかった場合、入居者以外の高齢者らが学校の体育館や教室での避難生活を余儀なくされ、心身に大きな負担が生じる事態が懸念される。このため総務省は、施設や自治体の積極的な取り組みを求めている。

教育施設では、公立学校だけでなく、私立学校の体育館も指定避難所とする自治体が増えている。被災者を分散させ、新型コロナウイルスなど感染症の拡大を防ぐ狙いもある。このため総務省は高齢者施設と同様、自治体が学校に補助すれば70％を地方交付税で支援する。

私立学校体育館の改修により、空調設備

1977.12.3 第3種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

を完備すれば夏の熱中症リスクを減らせる。Wi-fiを整備すれば、インターネットでの情報入手や気分転換ができる。

このほか消防本部による水中ドローンの導入も財政支援する。豪雨災害などでの不明者捜索に有効と判断した。

免震構造の新庁舎 完成

熊本県益城町 震度７の教訓生かす

2016年４月の熊本地震で観測史上初めて震度７を２回記録した熊本県益城町の新庁舎が完成した。西村博則町長は落成式で「町は着実に地震前の姿を取り戻しつつある。災害に強く、安心安全の拠点となるよう整備した」と述べた。開庁は５月８日の予定。

旧庁舎はエレベーターが壊れるなどしたため、これまでは仮設のプレハブで業務をしていた。新庁舎は地上４階建てで、延べ床面積約７千平方㍍。熊本地震と同程度の揺れにも耐えられるように免震構造としたほか、太陽光発電装置を設けるなどし、防災機能を強化した。

熊本地震の死者は熊本、大分両県で災害関連死を含め計276人に達した。益城町では16年４月14日と16日にそれぞれ震度７を観測。建物倒壊などによる直接死は20人で県内最多、関連死は25人に上り、住宅の約６割に当たる６千棟以上が全半壊した。

水害備え 高齢者ら支援

東京・江戸川区が専門課新設

東京都江戸川区が４月、災害が起きた際の避難や生活の支援が必要な高齢者、障害者らのサポート体制を強化しようと「災害用配慮者支援課」を新設した。乳幼児や妊産婦、外国人も対象とし、子育て施策や危機管理など各部署にも支援担当の係を新たに配置した。

事前に対象となる住民一人一人が避難計画を考える際の手助けをするのが主な役割で、それぞれの部署ごとで対策を検討していたのを改め、専門部署の支援課が主導し、各係との連携で充実を図る。東京湾に面した江戸川区は荒川などに囲まれ、満潮時の水面の高さより低い場所に土地がある「ゼロメートル地帯」が陸上の面積の７割を占め、大規模水害への懸念が強い。区の担当者は「安全に避難でき、適切な支援が受けられるよう準備したい」と説明。縦割り意識を排除した組織づくりで、災害への対応力を高めたい狙いだ。

区によると、大規模な河川氾濫があった場合の最悪の想定では、ほとんどが水没し、１～２週間にわたり水が引かない恐れがある。首都直下地震でも液状化現象などの恐れがある。

新設の支援課は兼務の職員を含め総勢５人。高齢者らが過ごしやすい設備が整った福祉避難所の指定作業や、外国人らへの情報伝達の在り方も検討する。

災害時の避難に詳しく、区のハザードマップ監修にも当たった片田敏孝・東大特任教授（災害社会工学）は「課の新設や関連部署での係の設置は、全国でも例がないのではないか」とする。「災害の犠牲者の多くは要配慮者だ。刻々と変化する支援対象の実情を見逃さないため、きめ細かな対応が必要になる」と話す。

●避難所と避難場所

避難所は災害で自宅に住めなくなった住民らが滞在する施設で、主に公立小中学校や公民館などが指定されている。避難場所は津波や洪水などが切迫・発生した際に住民らが緊急的に逃れる施設。東日本大震災では、避難場所と避難所が必ずしも明確に区別されておらず、被害拡大の一因となった。国は2013年に災害対策基本法を改正し、両者をあらかじめ指定することを市町村に求めたが、立地条件などによって兼ねる場合がある。一方で、災害の種類ごとに避難場所が異なる場合もあり、事前に確認しておくことが重要。

神奈川新聞

生活保護 ６％減を据え置き

来年改定 物価高配慮も苦しく

厚生労働省は、生活保護で５年に１度の改定年に当たる2023年度の支給額を公表した。物価上昇に配慮し、最大６％近く減額するはずだった世帯を据え置きとするほか、約11％増える世帯もある。ただ、据え置きや小幅増のケースでは物価高に追い付かず実質的な価値が減り、家計が苦しくなる人も出そうだ。

対象は食費や光熱費などに充てる「生活扶助」。金額は地域や世帯、年齢、収入によって異なり、改定は23年10月に実施する。物価高や新型コロナウイルス禍を踏まえ、23～24年度は特例的に減額を見送り、据え置きか増額とする方針を既に決めていた。25年度以降については、その時の予算編成で改めて検討する。

生活扶助は、生活保護を受けていない低所得世帯と不公平がないよう改定している。今回は一般の低所得世帯との比較などによる検証に基づき金額をいったん算出。次に特例として、世帯１人当たり月千円を加算し、それでも現行の支給額に届かない場合は減額せずに据え置きとした。

例えば東京23区など都市部で75歳単身の場合、今の支給額は月約７万２千円。検証段階では同約６万８千円で、本来は5.9％減となる。単身分の千円を加算しても現行額に届かないため、据え置きとする。

一方、地方部の40代夫婦と小中学生の子どもがいる４人世帯では、検証段階で現行の月約14万１千円から8.3％の引き上げだった。さらに人数分の４千円を加えるため、実際は11.1％プラスの同約15万７千円となる。

厚労省はこれまで最大８％減額になる可能性があるとの試算を示していたが、検証過程で計算方法を変更。減額となるはずだった割合は最大5.9％に縮まった。

60歳以上の労災多発

年金少なく働く高齢者増

60歳以上の労災が多発している。背景には年金が少ないなどの理由で、高齢になっても仕事を続ける人の増加がある。解雇を恐れ、泣き寝入りする人も。社会の支え手となった高齢者の生活保障や労働環境のあり方があらためて問われている。

厚生労働省のまとめでは、2021年の労災による休業４日以上の死傷者のうち、60歳以上は３万8574人で全体の26％。10年前の約1.6倍に増えた。60代後半は20代に比べ、女性は「転倒」が約16倍、男性は「墜落・転落」が約４倍に上る。

労災認定を受けた60代（当時）の女性は、清掃の仕事中に階段から転落し、複数箇所を骨折する重傷を負った。少ない年金を少しでも補おうと始めた仕事だった。けがで自由に外出できなくなり、暮らしは暗転した。

ただ、労災認定されるのは一部に過ぎない。労災ユニオンによると「企業の『労災隠し』で、泣き寝入りしている高齢者も多い」。非正規が大半で、体調が悪くても雇用を切られまいと我慢する人もいる。同ユニオンの池田一慶さんは「高齢者が最も弱い立場にある」と指摘する。

21年の65歳以上の就業者は909万人（総務省の労働力調査）で、18年連続で増加。65～69歳の就業率は半数を超えた。労働政策研究・研修気候が19年に60代に実施した調査では、就業理由として、76％が「経済上の理由」（複数回答）を挙げている。

解雇恐れ泣き寝入りも

働く理由に変化も見られる。生活困窮者を支援するNPO法人ほっとプラス（さいたま市）では「家族を養うため」という高齢者の相談が増えてきたという。70、80代の親が40、50代の息子娘を養うケースだ。藤田孝典理事は「１人なら年金で何とかなるが、就職

1977.12.3 第３種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

氷河期世代で非正規の子どもを養うためには足りないという声が目立つ」と話す。

国民年金の22年度の支給額は満額でも月額で約６万4800円。燃料費など物価高の中、経済的な厳しさは増す一方だ。生活保護基準以下で生活していても保護が認められないケースも少なくない。藤田さんは「東京や大阪のように米などの現物支給の検討が必要な状況にある」と訴える。

高齢者が現場で働くにはより安全な職場環境が欠かせない。体の機能低下が命の危険に直結しかねないからだ。厚労省は20年に「エイジフレンドリーガイドライン」を作成。手すりや段差解消など具体策を事業者に求めている。高齢になれば通院や治療機会も増えるため、仕事と両立するための配慮も要る。藤田さんは「生活するには年金が少なすぎる。高齢者が無理なく貢献できる社会を目指すべきだ」と強調した。

障害者政策 審査

国連、日本に改善点勧告へ

国連の障害者権利委員会が日本に対する政策審査を実施することが分かった。障害者権利条約を結んだ国に改善点を勧告するための手続き。勧告に拘束力はないが、締約国は尊重することが求められ、当事者の社会参加や生活向上につながる可能性がある。「国際的な視点で指摘を受けた課題に政府はしっかり向き合い、改善を図ってほしい」と期待する声が高まっている。

審査はスイス・ジュネーブで行う。日本が審査を受けるのは初めて。当初は2020年夏に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期されていた。勧告は１カ月程度のうちに出るとみられる。

既に権利委からは政府に事前質問が届いており、旧優生保護法による強制不妊手術や、災害時の障害者への対応、精神科病院での患者の長期入院といった課題が主な論点になるとみられる。

日本政府は14年に条約を結び、16年に障害者関連の施策について報告書を国連は日本弁護士連合会や障害者団体が出した報告書も踏まえて審査する。

報告書を提出した「日本障害フォーラム（JDF）の佐藤聡特別委員会事務局長は、政府の取り組みについて「東京五輪・パラリンピック開催で交通機関のバリアフリー化は大きく進んだ」と評価。一方で「精神科病院でコロナのクラスター（感染者集団）が相次ぎ、患者が劣悪な環境に置かれるなど課題も浮き彫りになった。国は勧告を重く受け止め、施策の拡充に取り組んでほしい」と話している。

ｉＰＳ細胞から軟骨組織を作製

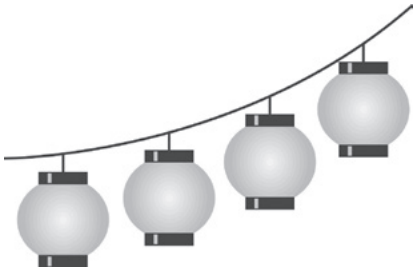
京大など

京都大や佐賀大のチームは、人工多能性幹細胞（iPS細胞）を使って軟骨組織をつくることに成功したと発表した。

軟骨の細胞塊を接着させると数日で融合するため、大きく欠損した軟骨の治療に将来つながる可能性があるという。軟骨は損傷すると関節痛などの原因となるが、修復が難しい。

チームは骨や軟骨に分化する能力がある幹細胞の一種「間葉系幹細胞」をiPS細胞から作製。間葉系幹細胞に特殊な化合物を添加することなどで、段階的に軟骨組織に分化させた。

マウスに移植して経過を８週間観察。石灰化して骨のようになることもなく、軟骨としての性質を維持していた。



万華鏡 50 独りよがりの宗教論 ①

千葉県支部 出口 臥龍

死を怖いと思ったことは一度もない。強がっているわけではない。死ぬのが怖いというのは、死後の自分がどうなるか分からないからだと思う。地獄にいくのか天国にいくのか、自分の存在そのものがどうなるか分からない。これは怖い。死んだ後、魂が体から抜け出して、あちこち彷徨うのではないか。これを俗に幽霊とか魂とか火の玉という◆75年間生きてきて、私は幽霊にも亡霊にもお目にかかった経験はない。一度は会ってみたいと思うのだが、天国も地獄もありはしない。「来世思想」や「輪廻転生」なんてものは、過去の宗教家が創りだしたものだ。死ねば人間の脳細胞は破壊され、黄泉の世界も霊魂もすっかり消えてしまう◆我が家は首都圏の外れ、旧街道に面しているが、近くにマンションができたとき、基礎工事の掘削中、600体もの人骨が出てきた。話によると、江戸城を造った太田道灌が、敵味方ともに埋葬したそうである。その上に我が家は建っているのだが、もう40年も亡霊なるものに遭遇していない◆不本意な死に方をした封建時代の侍たちには、家族への断ちがたい未練があって、その魂が夜な夜なでてきても不思議ではない。それが現世に徘徊してもいいと思うのだが、出てこないのは、そもそも霊魂なるものは存在しないからだと思う。

災害支援金への募金のお願い

近年、多様な自然災害が全国各地で多発しています。そのような事案に遭遇した全脊連会員へ生活支援等に即応すべく支援金の存在は心強いものです。その準備のために平時から募金活動を継続したいと思います。厳正に別会計として管理し公開してまいります。皆様からのご協力を心よりお願い申し上げます。

大規模災害発生時には、従来からの特定募金を実施したいと思います。

日頃より、防災意識の向上に心がけましょう。

〔記〕

【お振込先】

郵便振替……００１１０－２－１７００７６

加入者名……公益社団法人　全国脊髄損傷者連合会　宛へ

※　通信欄に「災害支援金」とご記載ください。

1977.12.3 第３種郵便物認可
（発行日）2023.7.15 SSKP 通巻第8176号

組織部報告７月

●新入会員

滋賀県支部　徳本高志

●死亡退会

岩手県支部　及川典之様
群馬県支部　金井　登様
滋賀県支部　小林好和様
大阪府支部　吉川弘記様

＜編集後記＞

異常気象が、ここ20年続いています。台風・モンスーン・ハリケーンなどと呼ばれている。地球に何が起こっているのでしょうか？地球温暖化が進む中、北極圏の氷山が溶け出し、南極大陸の１／３の永久凍土が溶けてミクロネシア連邦の海面が３cm上昇している。海洋深層水も通常より４℃位上昇をしている。

CO_2の削減をＧ７などの国際会議で決議されているが、オゾン層の破壊だけにとらわれている。私たちが住む地球を壊したのも人間であり、立ち直すのも人間である。地球を障害者にした人間が、いち早く行動に移し破壊が進むことを止めて、原始ウイルスの繁殖を防ぐ重要性に気づくことが大切である。

（祐成）

原稿をお寄せください

各支部で発行する機関紙に掲載された研修会や行事の報告等をお寄せください。また、会員の皆様で、旅行記や意見、エッセイなどの原稿も、本部へお寄せください。役立つ情報を共有したいと思います。あわせて支部機関誌も本部にお送りください。参考にさせていただきます。

私小説、ご自分の研究報告、体験談など多彩な原稿をお寄せください。

また、以前に利用したホテルなどの情報もお寄せください。

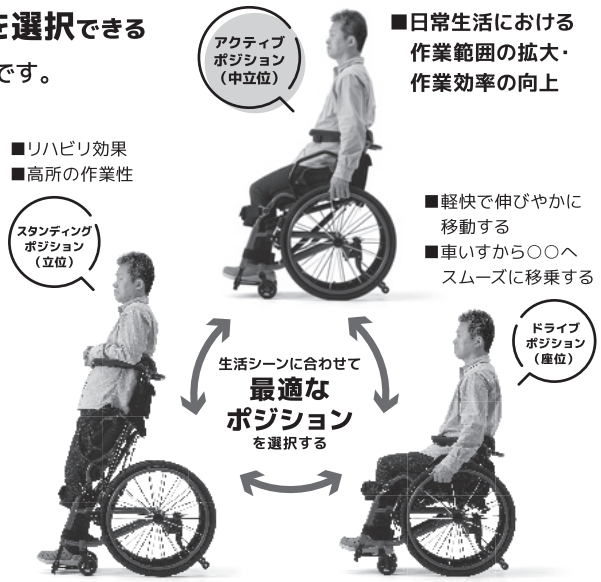
お待ちしています。

日々の生活シーンで最適なポジションを選択できる「マルチポジショニングウィールチェア」です。

搭乗者自身のプッシュアップ操作で無段階に高さ調整ができ、日々の生活シーンに応じた最適なポジションが選択できます。

FORCE WEB　この機種のWebページはこちらからアクセス。

MOVIE　この機種の動画はこちらからアクセス。



FORCE
MASTER OF WHEELCHAIR POWERED BY MIKI
miki-force.jp

株式会社　ミキ
〒457-0863　名古屋市南区豊三丁目38番10号
お問い合わせは **株式会社 ミキ お客様サポート窓口** まで
TEL 0570-00-9993　※愛知県への通話料が発生します。
［ミキホームページ］http://www.kurumaisu-miki.co.jp/

● FORCEお問い合わせフォーム
NOVA_RiseActive に関するお問い合わせ等はこちらからアクセス願います。

仕様は、製品改良のため予告なく変更される場合があります。　■当社製造商品生産物賠償責任保険に加入しております。

アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッシン自動車工業は2016年4月より、
”株式会社ミクニ ライフ＆オート”と社名を変更し、新たなスタートを切りました。

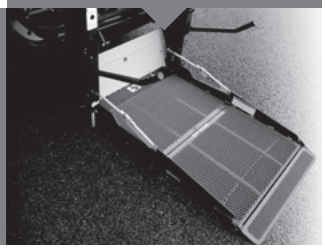
Happy car life

車いすを屋根上へ収納
車いす収納装置
オートボックス

車いすに乗ったまま
スムーズ乗降
リモコン式
乗降用リフト

手でアクセル＆ブレーキ
手動運転装置
APドライブ

車いすの積み降ろしを
サポート
車いす収納装置
ウィンチェア



福祉車両総合メーカー

MIKUNI life & auto
Mikuni × Nissin automotive industry

株式会社 ミクニ ライフ＆オート
〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1
TEL.0480-72-7221
FAX.0480-72-7223
http://www.nissin-apd.co.jp/

昭和五十二年十二月三日第三種郵便物認可　毎月十八回一・二・三・五・六・七・の日発行
令和五年七月十五日発行　SSKP　通巻第8176号

編集人　東京都目黒区緑が丘2-15-14
（公社）全国脊髄損傷者連合会
発行人　東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
障害者団体定期刊行物協会

頒価五〇〇円
印刷・製本　コロニー印刷